

SDGsへの取り組み

SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、世界中のすべての人々が幸せに暮らすことができる社会を作るために、2015年9月に国連サミットで採択された国際社会共通の目標です。

2030年までに達成すべく「17の目標」と「169のターゲット(具体目標)」で構成されています。

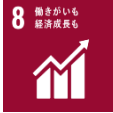
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



お客様から支持され、信頼されなければ会社としての存続と繁栄はありません。その為にもお客様へのお役立ちを高めて行かなければなりません。そうした考えから、各営業拠点の膨大な在庫を揃え、独自のコンビニ経営を展開し、お客様にとって真に役立つ企業を目指しています。また、行動力と情熱にあふれた人材教育に取り組むことで、SDGs 達成に貢献してまいります。

主な取り組み事例

柱	これまでの取組内容	2023-2024 年度取組	関連性のあるSDGs
社会的貢献活動で	(エコキャップ運動に賛同) ペットボトルのキャップを分別回収することにより、焼却による CO2 の発生を抑制し、環境改善と再資源化を促進し、キャップの売却利益で世界中の子どもたちにワクチンを届けています。 (2023 年 5 月 18 日現在 回収累計) 個数 234,520 個 ワクチン人数 280 人 CO2 削減量 1,763Kg	回収累計 個数 252,000 個 ワクチン人数 300 人 CO2 削減量 1,900Kg	     
	(清掃奉仕活動) 全社員が分担して、毎朝、毎週金曜日午後 4 時から本社、各営業所廻りの清掃奉仕活動を実施しております。安城本社周辺はサイクリングロードや文化会館、市民会館、神社、市役所等多くの市民が利用している施設があり、小学校、中学校、高等学校の児童、生徒さんの通学路にも利用されていますので、社員から自主的に清掃奉仕活動が始まりました。	毎朝、毎週金曜日 午後 4 時から実施	

障 が い 者 雇 用 促 進	(電気使用量の見える化) 電気エネルギー総合サービス会社のスマートメーター、スマートクロックを設置し、電力使用状況、特に電気料金に大部分を占める「使用電力量」「デマンド」データを閲覧分析することにより、最適な目標値の設定や省エネ対策を計画実施しております。	前年のデマンド設定値を5%下げる。	    
	(省エネルギー意識) 本社、各営業所では、全社員が環境活動への積極参加する意識を持ち、事務所、倉庫を使用しない時は消灯、室内温度の管理を実施しています。 ・クールビズ(5月1日～10月31日)、ウォームビズを実施しています。 ・倉庫の照明器具スイッチを人感センサーに取り換えています。	昼休憩時間に人がいない事務所、倉庫の照明、空調機器のSWをOFFにする。	
	(障害者雇用) 身体障がい者、精神障がい者、聴覚障がい者の採用を推進しています。2021年3月から障がい者の法定雇用率2.3%を遵守し(2023年1月2.65%)、多くの方が本社配送便、商品出庫等で活躍しています。今後も、職場におけるサポート体制の整備も含め、障がい者雇用促進に取り組んでいきます。	障害者雇用率 3.26% (2023年1月/雇用13.5名)	 

人材育成	(資格取得 2022 年 12 月 5 日現在 社員 414 名) ① フォークリフト運連免許 239 名 ② 第一種電気工事士 7 名 ③ 第二種電気工事士 185 名	2023 年 12 月までに ① 260 名 ② 7 名 ③ 200 名 資格取得を目指す。	
------	--	---	---